

地域金融機関と協調し、 三重県初の公私連携型保育施設の運営を行う社会福祉法人明健福祉会を ソーシャルローンでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献しています。

商工中金（四日市支店）は、社会福祉法人明健福祉会（本社：三重県三重郡、代表者：津田 健児）に対し、北伊勢上野信用金庫と協調し（※1）、保育施設の新設に必要な資金3億5,000万円の融資枠を開設しました。本融資については、ソーシャルローン（※2）を適用しています。（※1）商工中金は、2023年9月に北伊勢上野信用金庫と「サステナブルファイナンス業務における連携・協業に関する覚書」を締結しています。本融資は、当該分野における協調融資第1号となります。

同法人は、保育施設を運営する社会福祉法人です。2024年6月に、三重県桑名市の公募型プロポーザルにて同法人が提案した保育環境向上プロジェクトが採択。これを受け、今回同法人は、調達した資金を活用し、保育施設（※3）と子育て支援センターの新設を計画。受け入れる園児数を目標（KPI）として設定した本プロジェクトに取り組むことで、経営の持続可能性を高め、経済的価値のみならず社会的価値の向上を実現していきます（※4）。

（※3）公私連携型保育施設とは、市町村と民間法人が協定を締結して運営する保育施設で、市町村が運営に関与する。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、同法人の強みと課題、目標（KPI）を共有。同法人の価値向上のために必要な資金をソーシャルローンにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援をしていきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【社会福祉法人明健福祉会の概要】

所在地	三重県三重郡菰野町大字神森839番地
代表者	津田 健児
業種	保育業
従業員数	27名（2025年2月時点）
設立	2021年4月



【新設予定の保育施設】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※2) 「ソーシャルローン」について

ソーシャルローンとは、お客さまが行うソーシャルプロジェクト（明確な社会課題解決効果のある事業・設備投資）をサポートするご融資です。社会課題解決効果に関する目標設定、およびモニタリング、および資金供給を通じ、企業の社会的価値の向上・持続可能な社会の実現へ貢献していきます。

ソーシャルローン原則に適合した融資スキームで、その適合性について商工中金または外部評価機関が評価を行い、透明性を確保するスキームです。

商工中金は、ソーシャルファイナンスフレームワークを策定し、本フレームワークに則って実施される融資が各国際原則等に適合していることについて、株式会社日本格付研究所より評価書を取得しています。

(※4) 今回の同法人の取組み及び本融資は、上記のソーシャルファイナンスフレームワークに準拠しています。その評価結果やKPI等については、商工中金HP掲載の「[ソーシャルローン評価書](#)」をご覧ください。

